

平成 30 年 中小企業の診断および助言に関する実務の事例Ⅲ : 解答用紙

本試験答案は、学習ガイドブック 6 頁の「本試験答案作成の注意点」に従い作成したものを提出ください。

受講番号(楷書で丁寧に書きください)						イニシャル				
1	8	2	0	1	7	1	6	(M・W)

採点欄
68

切り口とともに、つまりと良くまとまっています。

第 1 問 (配点 20 点)

15

理由は、①生産面で、金型の設計・製作から
成形加工までの一貫生産や、②技術面で、資
格取得者養成等での加工技術力の強化、③材
料歩留まりの向上等コスト対応力強化がある。

上手くまとめているのですが、内段取りの表記、外段取化の方が望ましいと思います。ポカミスかもしれませんね。

第 2 問 (配点 20 点)

11

C社は、①成形機の段取り時間の長期化という
問題に対し、外段取作業の内段取化や、金型
置き場の整理・整頓等5Sの実施、金型や使
用材料の定位置化を行い、②使用材料の納品
位置の変更による混乱という問題に対し、材
料納品位置の定位置化や流水線図作成を行う。

具体的に対策、モレなく述べられています。

第 3 問 (配点 20 点)

14

C社は、①段取り時間を優先したロットサイ
ズの決定という問題に対し、受注量を優先し
た生産ロットサイズの作成や、②週一回の生
産計画立案や過大在庫の保有という問題に対
し、需要予測の精緻化や生産計画立案の短サ
イワル化を行い、在庫削減していく。

分かりやすく述べられていますね。

第 4 問 (配点 20 点)

14

C社は、①金型の社内統一識別コードの作成
や、②受注量、在庫情報、使用材料の納品情
報など、受注関連情報もデータベース化し、
生産管理体制を構築し、生産計画・生産統制
等の管理体制を強化することで、ジャストイ
ンタイム生産への対応を図っていく。

あと、社内ネットワーク化なども活用できるといいですね。

第 5 問 (配点 20 点)

14

C社は、①電気・電子部品関連の中小企業の
多い立地や、②工業団地組合活動でのリーダ
ーシップ、高度な成形技術や一貫生産体制等
の経営資源を活用し、「インサート成形を強
化した生産体制の構築」を行い、製品の高付
加価値化を図っていく。

立地環境と経営資源、戦略、モレなく述べられていますね。

全般的に分かりやすいキーワードが活用できていると思います。

色々心配なことが思いつくかもしれませんが、吉報は寝て待て、と言います。口述対策で弊社の模範解答でも眺めながら、気楽に発表まで過ごしてください。良い結果、祈っております。

MMC講師 徳川